

Relax & Refresh & Recovery

高濃度酸素発生器 New O₂ Recovery OC-3T OC-5T

脳の酸素消費量

脳は体全体の酸素消費量の内、約25%もの酸素を消費しています。又、脳は筋肉などに比べ酸素を貯蔵できないため酸素不足に敏感に反応しすぐに酸欠状態を起こします。1日に体全体で消費される酸素の量は1日2000リットル、ドラム缶10本分といわれています。

空気中の酸素濃度

窒素78%、酸素21%、それにわずかな二酸化炭素と水蒸気、アルゴンなどでできています。

なぜ高濃度酸素は必要か

酸素濃度90%の酸素を供給したとしても、実際に吸入する酸素濃度は90%とはなりません。周りの空気はかなり薄められて、酸素濃度は想像以上に低くなります。たとえば、酸素濃度90%の酸素を1分間に3リットル供給する機械で、鼻腔カニューラを使用して吸入したとしても、気道に入ってくる酸素濃度は30%程度にしかなりません。同様に、酸素濃度30%の酸素を1分間に2リットルで流した場合はおよそ22%の濃度になると考えられます。大気中の酸素濃度が21%ですから、になります。つまり急激に失われた体内の酸素を短時間で取り戻すためには高濃度酸素が必要だということです。

こんなときにお勧め

- 読書や仕事の後で：ストレスを感じた後脳がもっとも酸素を消費します。ストレスの低減、集中力の持続
- スポーツの後：激しい運動は通常の何倍もの酸素を消費します。効率よく酸素を補給してすばやく回復し疲れを残しません。
- 二日酔いの後：アルコールの摂取後、脳は酸素不足になります。二日酔いの早期回復に
- 美容、ダイエットに：高濃度酸素はさまざまな実験結果より美容やダイエットに効果があるといわれています。

酸素濃度	症状
18%	・頭痛など
16~14%	・脈拍、呼吸数の増加 ・精神集中に努力がいる ・こまかい筋肉作業がうまくいかない
14~9%	・判断がにぶる ・発揚状態 ・不安定な精神状態 ・死傷などを感じない ・酩酊状態 ・当時の記憶なし ・体温上昇 ・チアノーゼ
10~6%	・意識不明 ・中枢神経障害 ・痙攣 ・チアノーゼ

スポーツ(男性)	最大酸素消費量 (1分間に付き体重1kgあたりの酸素量)
歩行(3~6km/h)	9~18cc
トライアスロン	70~94cc
長距離走	65~85cc
自転車競走	55~70cc
フットボール	45~64cc
野球	45~55cc
テニス	45~56cc

製品仕様 型式	酸素 流量	酸素 濃度	酸素圧 Mpa	Noise	SIZE	重量	電源 仕様	電力
O ₂ リカバリー New OC-3T	0~ 3l/min	90%± 3%	0.03~ 0.07	< 48dB	520×220 ×550mm	21 kg	100v 50/60hz	350 w
O ₂ リカバリー New OC-5T	0~ 5l/min	90%± 3%	0.03~ 0.07	< 48dB	520×220 ×550mm	21 kg	100v 50/60hz	400 w

付加機能：タイマー(30,60,90,120minutes) 付属品：ヘッドホーン式カニューラ 遠隔操作用リモコン